

運営推進会議 議事録

記入日： 令和5年10月16日

会議名	早稲田イーライフ相生 運営推進会議	記入者	岩坂 由美子
日時	令和5年10月16日(月) 12:15～12:45	場所	早稲田イーライフ相生
参加者	【利用者代表】伊藤 順子 様		
	【ご利用者ご家族】伊藤 英明 様		
	【地域代表】佐藤 重行 様（洞南四地区活性化委員会会長）		
	【市の職員】河村 広宣 様（保健福祉局地域福祉部介護保険課）		
	【市の職員】橋 実里 様（保健福祉局地域福祉部介護保険課）		
	【知見を有する者】北川 祐子 様（ケアプランセンター花 管理者）		
【事業所】岩坂 由美子（早稲田イーライフ相生 管理者）			
配付資料	会議資料		
議 事			
1.開会 岩坂より、会議出席者の紹介を行った。会議資料に基づき、スタッフの状況、地域交流内容、ご利用者様の状況を報告した。また、事業所のサービス内容及び取り組みについて説明した。			
2.構成員からのご意見（地域の引きこもりの方へ何かできること） （佐藤様）今年になって2件の孤独死があった。特に男性が外に出てこない傾向がある。市営住宅を一つのコミュニティとして無料での食事会など考えている。ふれあい巡回員も一人で700名の安否確認をするような状況であり為、その担い手が地域の福祉サービスの方が出来る様になったら良いと思っている。 （河村様）上記のようなことは他の地域でも声が上がっている。男性を外に出てきてもらうために料理教室などを行う案もある。コミュニティ支援課や区役所へ相談するのが良いのではないかと。 （北川様）佐藤さんの案に賛同する。ここで話して終わるのではなく、もう一歩進んだ話をしていきたいと思っている。 （伊藤英明様）地域でも一人暮らしになった男性が自治会を退会したいということがある。また、デイサービスを利用していることがわかるため、近所の方から介護保険についての相談を受けられることがある。			
3.まとめ 佐藤様には、取り組みを行うための意見交換などには参加したいと伝えた。以前のように地域の集まりなども再開してほしいと伝えた。 伊藤様には相談を受けてわからないことがあれば調べることもできるため、伝えてほしいとお願いした。			